

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2単位	日本の文化財	高山 有紀	1年次	秋

授業のキーワード	重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通して、文化財とは何なのか、どこが優れており、何のために保護継承されるのかについて学びます。めざましく変動する現代社会において、普遍的な価値は存在するのかを学習を通じて考えます。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本史の教科書や修学旅行で触れた数々の文化財について、改めて正しい知識を得ることができます。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに	授業の進め方について説明を行います。	第9講	中間のまとめ	第2講から第8講までの学習をまとめます。
第2講	文化財の基本的知識	文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。	第10講	美術工芸③	重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
第3講	建造物①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第11講	美術工芸④	重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
第4講	建造物②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第12講	書跡・古文書	重要文化財に指定されている文化財のうち、書跡・古文書を題材に学びます。
第5講	建造物③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第13講	その他	その他のジャンルに属する文化財について学びます。
第6講	建造物④	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	第14講	まとめ	本講での学習を総括します。
第7講	美術工芸①	重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	第15講	試験	
第8講	美術工芸②	重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	評 価 方 法		平常点（授業への取り組み等）30パーセント、試験や課題についての評価70パーセント
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			玉井哲雄『図説 日本建築の歴史』（河出書房新社） 黒田日出男『絵画史料で歴史を読む』（ちくまプリマーブックス） 人見春雄ほか編『図解 文化財の見方—歴史散歩の手引』（山川出版社）		